

「LONMARK SESSION 2025 東京」



主催：特定非営利活動法人LONMARK JAPAN

「LONMARK SESSION 2025 東京」

～開催日時 9月3日（水）15：00～16：30～

主催：特定非営利活動法人LONMARK JAPAN

- ごあいさつ
 - LMJの活動紹介
 - NEXT LONへの取り組み
 - コミッショニングツールと統合ツールに関して
- ：LMJ理事長 富田
：LMJ副理事長 田中
：丸紅情報システム 水野様

1. LonWorks革新への取り組み
2. マルチプロトコルインテグレーション技術の取り組み
3. スマートビルディング共創機構活動
4. ジョブサイト見学実施「清水建設：NOVARE」





1. LonWorks革新への取り組み

「LonWorks は終わりではなく、進化しています!」

ルネサスが最近発表した残りの Neuron® チップ ファミリーを製造中止すると発表したことで、LonWorks® コミュニティ全体に当然の疑問が生じました。しかし、これは特定のハードウェア時代の終わりを意味しますが、決してテクノロジーやその将来の可能性の終わりではありません。LonMark International では、これを極めて重要な移行、つまりイノベーション、相互運用性、柔軟性の新たな可能性を開くものと見なしています。状況を明確にし、業界が利用できるリソースの概要を説明するために、最近世界中のメンバーと LonWorks ユーザーに送信されたメッセージ全文を共有したいと思います。

今日わかっていることは次のとおりです。

1. 最終購入機会:

ルネサスが最終購入期間を発表したことは理解していますが、この期間を延長する可能性を検討しており、これにより企業は準備により多くの時間を割くことができます。これはまだ確認されていませんが、他のソリューションが実装されている間、継続性を確保するために、すべての利害関係者が最後の購入を計画することを強くお勧めします。公式アップデートや購入案内は、www.lonmark.org が公開され次第掲載していきます。

2. 潜在的なパートナーとの話し合い:

ルネサスは、製造権の譲渡や、長期的な在庫ニーズをサポートできる専門販売代理店との協力について、潜在的なパートナーと連絡を取っていると聞いています。これらの議論が進むにつれて、コミュニティに情報を提供し、準備を整えるために、LonMark.org に関する検証済みの情報を共有します。

3. 利用可能な代替 LonWorks 互換ソリューション:

複数の企業が、製造中止の Neuron チップに依存しない LonWorks 互換ノード設計を開発しています。これらのソリューションはすでに利用可能であり、完全な下位互換性があり、一部のソリューションは強化されたパフォーマンスと最新の機能を提供します。これには、FT トランシーバーと TP-1250 トランシーバーの両方に対応するトランシーバー設計と互換性のあるトランスも含まれます。代替ソリューションとプロバイダーの連絡先情報のリストは、www.lonmark.org で入手できるようになりました。

4. オープンソースの強化:

開発者が LonWorks エコシステム内で革新を継続できるように、オープンソースの LonWorks コードベースを拡張し、関連ドキュメントを改善しています。たとえば、LON プロトコル スタックの 2 つのバージョンは、<https://github.com/LonMarkTech> ですでに入手できます。これらのスタックは、10BASE-T、10BASE-T1L、Wi-Fi などのすぐに利用できるメディアを介して LON プロトコルをサポートします。リポジトリや使用ガイドなどのこれらのリソースは、LonMark.org を通じてアクセスできます。

5. ツールとテクノロジーの貢献:

主要な利害関係者に、LonWorks 関連のツール、テクノロジー、製品ドキュメントをコミュニティと共有するよう呼びかけました。利用可能なツールセットと将来の貢献に関する情報は、リリースされ次第 LonMark.org に一元化されます。

6. 再設計のエンジニアリングサポート:

LonMark エコシステム内のいくつかの組織は、再設計の取り組みをサポートし、企業が代替ソリューションに移行できるよう支援する設備を備えています。経験豊富なエンジニアリング パートナーを見つけるためのガイダンスも LonMark.org で利用でき、メンバーがこれらの変更を効果的にナビゲートするのに役立ちます。

7. 教育リソースとイベント:

LonMark International は、この移行をサポートするためのウェビナーを準備しています。イベントのスケジュール、登録の詳細、およびすべての関連コンテンツへのアクセスは、www.lonmark.org で公開されます。

変化は課題をもたらす一方で、機会も生み出します。私たちは、コラボレーション、専門知識の共有、タイムリーな行動を通じて、グローバル コミュニティが LonWorks イノベーションの次の章にうまく移行できると確信しています。

オープンな相互運用性とLonMark Internationalへの継続的な取り組みに感謝します。最新の開発については定期的に当社の Web サイトにアクセスし、質問やフィードバックをお気軽にお問い合わせください。

トレイシー・マーキー

ロンマーク・インターナショナル取締役
会長

2. マルチプロトコルインテグレーション技術の取り組み 「LonWorks は終わりではなく、進化しています!」



iCiti GmbH
239人のフォロワー
5日前 • 🌐

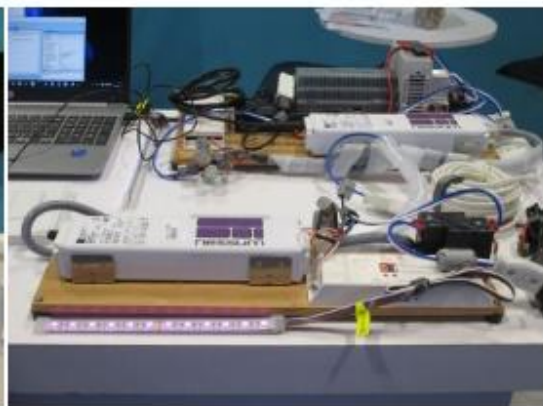
+ フォロー ...

当社の nesium 対応街路灯コントローラー iPC-HD は、オランダで開催された AHR expo 2025 の LonMark ブースで展示されました。デモを準備し、nesium高速電力線通信を介したLONプロトコルのデモンストレーションのためにiPC-HDを選択してくれたLonMark Japanの熱心なチームに感謝します。

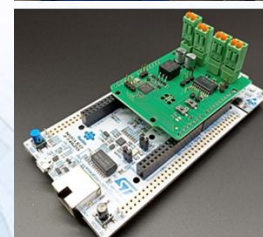
LON over nesium は、ANSI/CTA 709.8 または EN 14908.8 として標準化されており、最高の自動化と最も相互運用可能な自動化プロトコルのためのさらに別のトランスポート層です。

#SmartBuildings #OpenStandards #Interoperability
#EnergyEfficiency #AHRExpo #LonMark #SmartCities #iCiti
#nesium

原文を表示 · 翻訳設定



#1 LONMARK JAPAN IzoT ANSI/CTA709.8 (LON/HD-PLC) オープンプロトコル システム統合展示



Babi-LON技術を出展：
Babi-LONは、IzoT機能を製品化している IzoT使用の際、FT6000では、BACnetのBTL認証をとれないような話であった、日本でBTL認証の要求がどれほどあるかは、調査して回答する必要がある。

3. スマートビルディング共創機構活動

『一般社団法人スマートビルディング共創機構』 設立総会(6/4)



一般社団法人スマートビルディング共創機構 会員一覧(50音順) (2025年5月26日時点)

スマートビルディング共創機構
Smart Building Co-creation Organization

社名	社名	社名	社名
基金拠出幹事会員	株式会社NITフジノティーズ	株式会社日建設計	株式会社Re-grit Partners
株式会社Andeco	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	白根興和不動産株式会社	ONESTRUCTION株式会社
scheme verge 株式会社	株式会社NITデータ	株式会社日本設計	賛助会員
セコム株式会社	株式会社オカムラ	株式会社ネットワーク・コーポレーション	一般社団法人エコーネットコンソーシアム
ソフトバンク株式会社	徳島建設株式会社	株式会社長谷工アパネシス	EnOcean Alliance Inc.
大成建設株式会社	株式会社金山工務店	パナソニックEWネットワークス株式会社	国立大学法人大阪大学
株式会社竹中工務店	神田通商機株式会社	PwCコンサルティング合同会社	技術研究組合制御システムセキュリティセンター
東京建設株式会社	株式会社知能工	日比谷総合設備株式会社	公立大学法人大阪(大阪公立大学)
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社	株式会社九電工	福岡地所株式会社	学校法人丸亀商業会(東京都市大学)
株式会社日立製作所	株式会社橋本製作所	富士通Japan株式会社	一般社団法人GIS支援センター
株式会社ビットキー	KDD株式会社	プライム・スター株式会社	株式会社行政法人情報処理推進機構
株式会社ビルボ	KOA株式会社	平和不動産株式会社	一般社団法人スマートビルディングコンソーシアム
森ビル株式会社	コクヨ株式会社	三井不動産株式会社	国立大学法人電気通信大学
	三機工業株式会社	三愛地所株式会社	国立大学法人東京大学
	三和シヤッター工業株式会社	三愛電機株式会社	一般社団法人日本KNX協会
株式会社アビヒョウリテイズ	株式会社シグマシス	三愛電機ビルソリューションズ株式会社	特定非営利活動法人日本PFI-PPP協会
株式会社大林組	清水建設株式会社		一般社団法人日本冷凍空調工業会
ジョンソンコントロールズ株式会社	株式会社セック	株式会社ArchNex	一般社団法人ビルディング・オートメーション協会
株式会社セールスフォース・ジャパン	株式会社総合管理	株式会社アジラ	一般社団法人不動産協会
大成株式会社	ダイキン工業株式会社	Idein株式会社	一般社団法人不動産テック協会
戸田建設株式会社	ダイダイン株式会社	イマジナス・ジャパン株式会社	学校法人立命館 OIC総合研究機構
一般会員(1号)	高砂製作工業株式会社	エターランク株式会社	特定非営利活動法人LONMARK JAPAN
株式会社あい設計	千代田計装株式会社	株式会社オライヴ	一般社団法人日本ビルディング協会連合会
アイテック阪急阪神株式会社	デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社	株式会社THIRD	
アズビル株式会社	株式会社電通総研	株式会社JDSC	
アラビテレス株式会社	株式会社東急コミュニティー	SynapSpark 株式会社	
イオンディライト株式会社	株式会社東芝	株式会社DATAFLUCT	
エクシオグループ株式会社	東武ビルマネジメント株式会社	日商電気製鋼株式会社	
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	トランス・コスモス株式会社	株式会社Wi-MRE	
NITアーバンソリューションズ株式会社			

6月4日、一般社団法人スマートビルディング共創機構(以下、「スマートビル共創機構」。代表理事:竹田真二)は、都内の虎ノ門ヒルズフォーラムに於いて設立総会を開催いたしました。総会はハイブリッド形式で執り行われ、現地参加約170名にオンライン参加者を加え総勢240名規模となり、設立時の会員となった企業・団体が一堂に会する初めての機会となりました。スマートビル共創機構は2025年4月2日に発起人により設立され、会員の募集を進めてきました。会員の内訳は、発起人である基金拠出幹事会員12社(ホームページで公開中)に加え、新たに加わった幹事会員6社、一般会員(1号)53社、一般会員(2号)14社、賛助会員20団体からなる計105企業・団体など(2025年5月26日時点)で、建設業・不動産業・製造業・情報通信業・施設管理業・サービス業・教育機関・公的団体と業種や業界を横断した多種多様な構成になっています。

設立総会では、設立時の11名の理事に加え、大阪公立大学・東京大学・独立行政法人情報処理推進機構の3名の有識者理事が選任されました。その後の第2部では、事業計画・予算計画の報告が行われ、今後の当法人の活動の要となる6つのワーキンググループ活動に関する方針説明を実施し、会員企業との間で関連な意見交換がされました。また、閉会後のネットワーキング交流会では、業種・業界を越えた親睦や情報交換の機会を持つこともできました。今後、会員企業各社と共に、産学官が共創して社会課題に向き合い、デジタルやデータを活用したスマートビルの普及促進活動を通じて人々に新たな価値を提供し、人間中心かつ持続可能な社会の創造に貢献してまいります。

問い合わせ先: スマートビルディング共創機構
事務局: メールアドレス: contact@sbco.or.jp
HP: <https://www.sbco.or.jp/>

4. ジョブサイト見学実施「清水建設：NOVARE」

